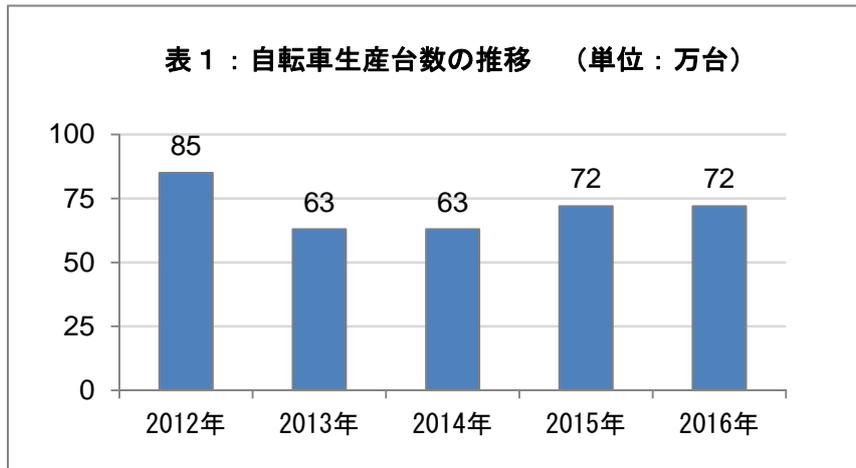


フランス自転車市況－2016

1. 生産

本年、新たに組織されたフランスのスポーツ・サイクル用品の業界団体「Union Sport & Cycle」によると、2016年フランスの自転車生産台数は前年同様の72万台にとどまった。部品・付属品(P&A)の生産については、金額ベースで見ると2016年は前年比5.9%増の214百万ユーロ(278億円)と3年続けて増加しており、2000年以降でみて最高額となった。

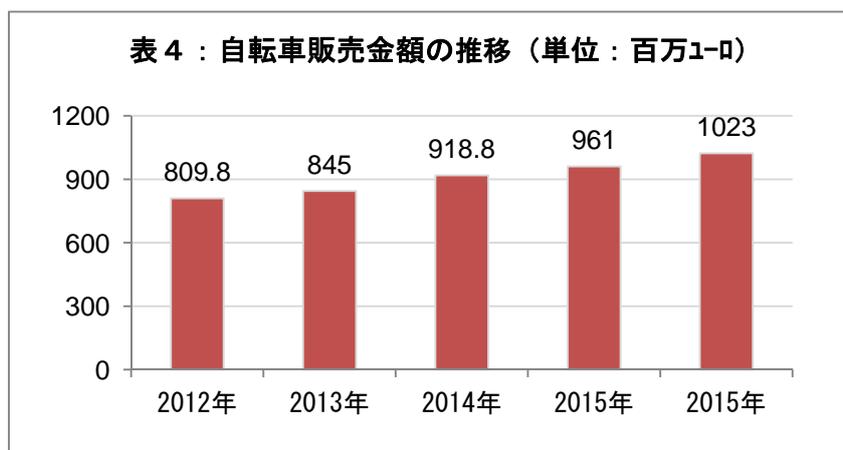
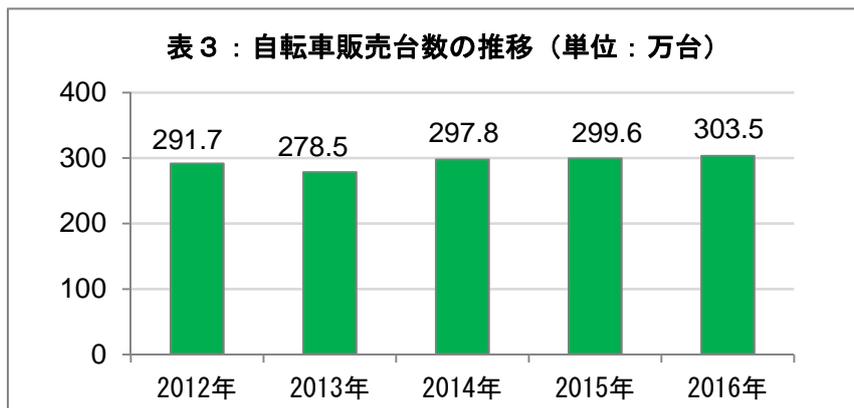


2. 販売

2016年の自転車販売台数は同比1.3%増の303.5万台となり、前年よりわずかに増加した。2016年の自転車販売金額は前年比6.5%増の1,023百万ユーロ(1,330億円)に達し、1,000百万ユーロの大台も突破し4年続けて増加している。また、部品・付属品(P&A)の販売金額は、前年比6%増の772百万ユーロ(1,004億円)となった。

2016年のフランス自転車市場は、完成車の生産台数では前年より横ばいとなったが、完成車の販売は台数・金額と共に前年を上回り、更に部品・付属品については、生産・販売の双方とも前年より金額ベースで増加しており、仏自転車市場は全般的に前年に引き続き堅調

であった。



2016年の全車種の自転車平均販売価格は、前年より16ユーロ(2,080円)高い、前年比5%上昇の337ユーロ(43,180円)となり、5年続けて上昇した。平均販売価格が年々上昇を続ける主な要因は、販売単価の高い電動アシスト自転車(EPAC)の販売が更に増えているためとみられる。

表5：平均販売価格の推移（単位：ユーロ）

| 年 | 2012 | 2013 | 2014 | 2015 | 2016 |
|--------|------|------|------|------|------|
| 平均販売価格 | 278 | 303 | 307 | 321 | 337 |

3. 業態別販売動向

依然としてDecathlon等の大型販売店・大型スポーツ店は、半数を超える販売台数シェアを占めているとみられる。しかしながら、販売業態別シェアを販売金額ベースで見れば、大型販売店・大型スポーツ店は、2016年は前年より1ポイント増の35%となっている。また、自転車小売専門店は前年より0.5ポイント減となったが、依然、最多の42.5%を占めている。一方、スーパーマーケット等の量販は前年より0.5ポイント減の6.5%となり、ここ数年、減少が続く状況である。なお、インターネット・通販は前年同様の16%となった。

表6：販売業態別シェアの推移（販売金額ベース）

| 販売形態 | 2012年 | 2013年 | 2014年 | 2015年 | 2016年 |
|---------------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 大型販売店、大型スポーツ店 | 36.5% | 33.0% | 34.0% | 34.0% | 35.0% |
| 自転車小売専門店 | 54.0% | 45.0% | 43.0% | 43.0% | 42.5% |
| スーパーマーケット等、量販 | 9.5% | 8.0% | 8.0% | 7.0% | 6.5% |
| インターネット、通販 | | 14.0% | 15.0% | 16.0% | 16.0% |

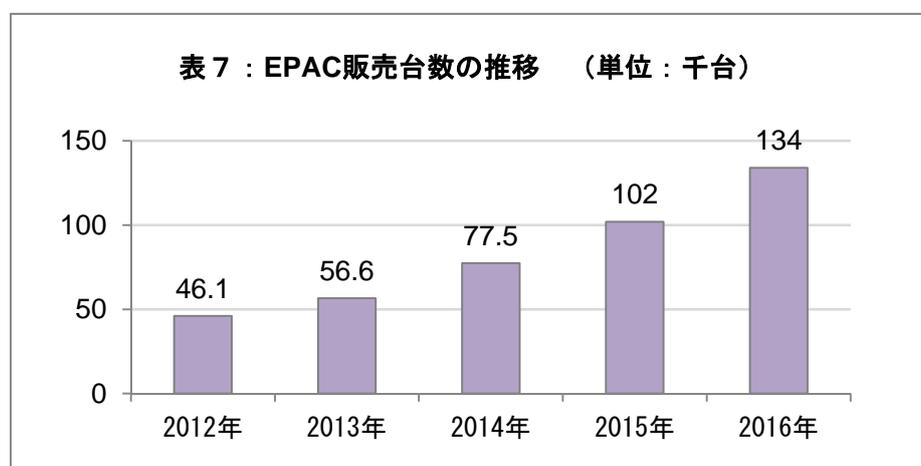
※2013年より「インターネット、通販」の項目追加

各業態の販売金額について前年増減率で見ると、本年も最も成長が著しいのは部品・付属品(P&A)のネットショップ販売が増えているインターネット・通販であり、前年比10%増となった。また、自転車小売専門店は同比2%増、大型スポーツ店等は同比8%増であった。量販については販売台数は減少したものの販売金額が同比2%増となった。

4. 車種別販売動向

2016年の車種別販売については、スポーツ車のうち大人向けマウンテンバイク(MTB)が依然として最多販売車種であり、販売台数は前年比7%増の92.6万台となった。ロードバイクは販売台数が減少したものの販売金額は増加したとみられる。その一方で、子供車の販売台数は同比4%減、更にBMXの販売台数は同比14%減と大幅に減少しており、子供向け車種の販売不調が昨年より続いている。

2016年の電動アシスト自転車(EPAC)の販売台数は同比31.4%増の13.4万台となり、高い伸び率を見せた前年を更に上回る勢いを見せた。なお、EPAC販売は従来、自転車小売専門店が主体であったが、大型販売店・大型スポーツ店でもEPAC販売の重要度が増してきている。EPAC販売台数は一年間だけで3.2万台余りも増加したが、その中でも、現在、ドイツを中心に人気が高まる電動マウンテンバイク(e-MTB)についても、2016年フランスにおける販売台数は1.5万台となり、同国でもその人気の高まりを受け、近年、e-MTBを扱うブランドも増えている。従来からMTB人気の高い仏市場においてe-MTBがどこまで伸びるのか、同国EPACブームの今後の行方を占う上でも注目したい。



参考：フランスブランドのEPAC(抜粋)

| ブランド | 車名(車種) | 電動ユニット | 価格(€) |
|--------------------|--------------------------------------|--------------|---------|
| Lapierre | OVERVOLT SX800 (MTB) | Bosch(250W) | - |
| GITANE | E-KOBALT 27.5+0 (MTB) | Yamaha(250W) | - |
| Peugeot | eM22 XT11 (MTB) | Bosch(250W) | 4599 |
| MATRA | i-Force Play D10 (MTB) | Bosch(250W) | - |
| moustache | SAMEDI 27/9 TRAIL5 (MTB) | Bosch(250W) | - |
| ROSSIGNOL | E-7S PLUS (MTB) | Yamaha(250W) | - |
| B'TWIN (Decathlon) | Velo Electrique Elops 940E (トレッキング車) | STEPS(250W) | 1899.99 |

※各社カタログ、ホームページより



Lapierre



moustache

本年2月にフランス政府は低排出ガス車両の促進のため、電動自転車への購入補助金交付を開始した。鉛蓄電池を使わないモータ出力3000W未満の二輪又は三輪のペダルアシスト付き電動自転車対象であり、同国民一人当たり200ユーロまでとなっている。この制度は2018年1月31日まで実施され、今後のEPAC販売台数の推移にも影響を及ぼすことが考えられる。

以上

統計出所： Union Sport & Cycle

参考資料：平成29年2月16日付 Legifrance No.0217-196

写真： EUROBIKE2016にて筆者撮影